

地域支え合い活動 ごみ出し支援のはじめ方



はじめに…

今はできている「ごみ出し」も、5年後、10年後…体や生活の状況が変わることで、できなくなる可能性が誰にもあります。それが、1か月、1年…と捨てられない状況になると、住環境が悪化し病気になったり、転倒する危険が高くなります。

お互いが過ごしやすい地域になるように、「ごみ出し支援」を考えてみませんか？



ステップ1 地域の実情を把握しましょう

◎困っている人はいるだろうか？

例えば	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシや回覧などを使って相談が入るようにする ・アンケート調査で困りごとを聞いてみる ・高齢者に関わる方（地域包括支援センター、自治会の役員、民生委員）等から困りごとを聞いているか情報収集する
-----	---

- ・困っている人は自分から『助けて!』ということが難しいとされています
- ・相談しやすい環境づくりが大切です

◎活動を始めるにあたって、相談や協力をお願いできる団体を探してみましょう

例えば	近所、自治会（婦人会・子ども会）、民生委員、健友会（老人クラブ）、地区社協、サロンなど
-----	---

- ・新しくメンバーを集めて活動をするときには、人のつながりが大切になります
- ・普段から高齢者と関わっている人とつながりを持つことで相談が入りやすくなります
- ・活動しやすい環境づくりのために、協力・理解者をつくっておきましょう
- ・活動の進め方を相談できる人を見つけましょう

◎同じ気持ちの仲間を探しましょう

例えば	地域の組織や団体に声をかける、ボランティア講座の実施、チラシや回覧、地域福祉懇話会に参加する
-----	--

- ・ごみ出し支援活動が始まることで、どんな地域になるといいか共有しましょう
- ・ごみ出し支援を継続していくためにも、一緒に活動できる仲間を増やしましょう
- ・すでに地域で活動をしている団体を見学したり、話を聞いてみましょう。



ステップ2 活動の進め方を決めましょう

活動範囲	例えば…自治連合会（地区センター）単位、自治会、丁目・班・組、地域包括支援センター単位
窓口	例えば…代表者の自宅・携帯、自治会、集会所
スケジュール	活動の周知、活動の受付を始める時期など、支援者にもわかりやすい日程を決めておきましょう

- ・活動団体等から情報を集めましょう
- ・活動範囲に合わせて、相談しやすい窓口を用意しましょう



（裏面）

ステップ3 活動のルールを決めましょう

利用対象者	例えば…世帯や年齢、身体状況など
利用料	<input type="checkbox"/> 有償 <input type="checkbox"/> 無償
	金額設定
	支払い方法
	管理方法
役割分担	受付、調整、活動、その他
その他	例えば…ごみが出ていない時の対応、異変があった時の対応など具体的な流れをイメージし決めておくこと

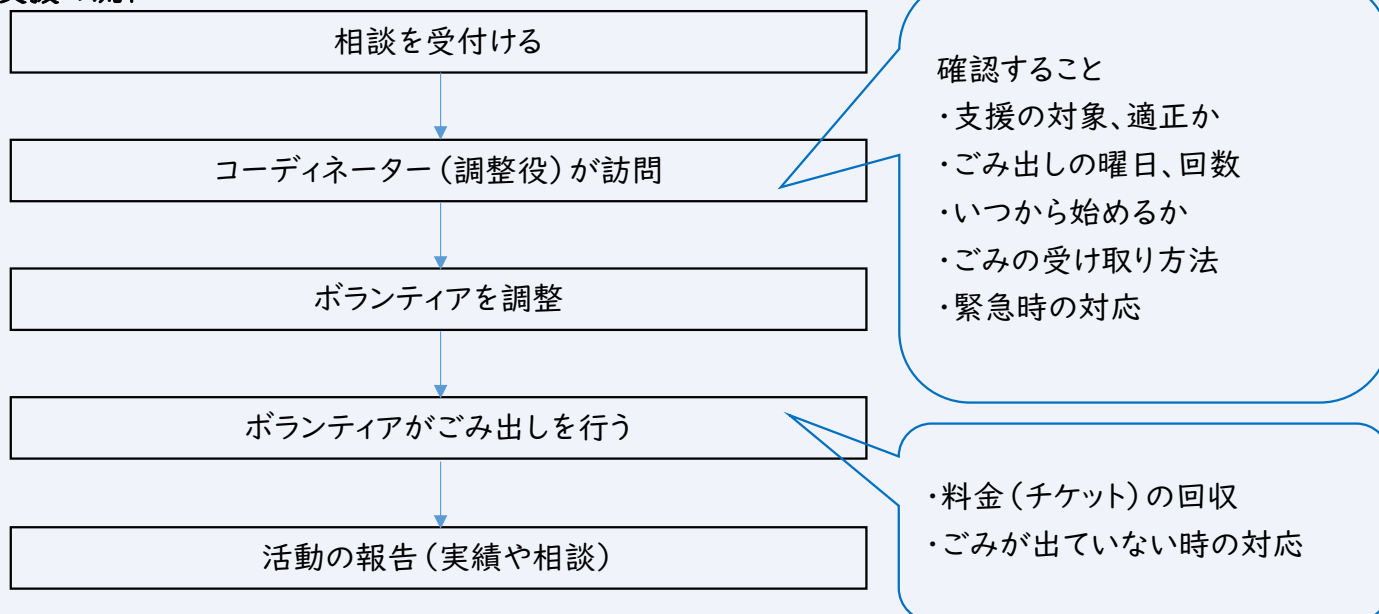
- ・利用対象者や料金を決めることで、相談受付がしやすくなります
- ・ボランティアの役割分担（活動者、調整役）についても相談しましょう
- ・利用料を無償にするとごみ出しを頼みづらくなることがあります
- ・有償の場合、支払い方法によっては安否確認が不十分になる可能性もあります



ステップ4 活動を始めてみましょう

- ・回覧やチラシを配布し、相談窓口を知ってもらいましょう
- ・支援を始める前に困っている人の状況を確認しましょう
- ・困っている人と支援できる人を結んでいきましょう

支援の流れ



【問合せ】

可児市高齢福祉課 地域包括ケア推進係
☎0574-62-1111

「ごみ出し支援のはじめ方」の活用にあたって…

可児市では、ちょっとした困りごとを相談したり、解決できる、お互いに支え合うことができる地域を目指しています。地域によって支え合いの形は様々です。活動を継続していくためには、地域の実情にあった方法を考えることが必要です。地域で話をするきっかけ、つながりができるきっかけができるように、ごみ出し支援活動のはじめ方を作成しました。